

平成23年7月22日（金）  
国土交通省関東地方整備局  
企 画 部

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成23年度第1回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成23年7月21日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、対応方針（原案）のとおり、了承されました。

ダム事業 2件

道路事業 5件

公園事業 2件

営繕事業 1件

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会、  
茨城県政記者クラブ、刀水クラブ、千葉県政記者会  
東京都庁記者クラブ、山梨県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151（代表）  
048-600-1329（夜間直通）  
地方事業評価管理官 なりた成田 いちろう一郎（内線2118）  
企画部技術企画官 のだ野田 いわお巖（内線3126）

(別紙)

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成23年度第1回）

議事概要

1. 日 時 平成23年7月21日（木）14:00～17:00

2. 場 所 埼玉会館 7階 7B会議室

3. 出席者

[委員長]

家田 仁（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授）

[委員長代理]

鈴木 誠（東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授）

[委員]

遠藤 和義（工学院大学工学部建築学科教授）

大野 栄治（名城大学都市情報学部教授）

清水 義彦（群馬大学大学院工学研究科教授）

堤 マサエ（山梨県立大学国際政策学部総合政策学科教授）

恵 小百合（江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授）

山崎 朗（中央大学経済学部教授）

笠 京子（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

局長 下保、副局長 荒川、建政部長 永森、河川部長 山田、  
道路部長 池田、営繕部長 林 他

[独立行政法人水資源機構]

理事 井手、ダム事業部長 進藤 他

#### 4. 議事概要

##### (1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

##### (2) 審議

###### 1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ ダム事業 2 件、道路事業 5 件、公園事業 2 件、営繕事業 1 件の概要説明

###### 2) 審議

- ・ 平成 23 年度「特に重要な審議を要する案件」選定方法を了承する。
- ・ 特に重点的な審議を要する案件として 5 件選定する。
- ・ 事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、了承する。

##### ① 評価対象事業

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針 (原案)	審議結果
ダム	○	吾妻川上流総合開発事業	関東地方整備局	中止	対応方針(原案) のとおり了承
		武蔵水路改築事業	(独)水資源機構	継続	対応方針(原案) のとおり了承
道路		一般国道 16 号 八王子拡幅	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
	○	一般国道 17 号 上武道路	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
		一般国道 50 号 結城バイパス	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
		一般国道 51 号 成田拡幅	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
	○	中部横断自動車道 富沢～六郷	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
公園	○	国営常陸海浜公園	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
		国営昭和記念公園	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
営繕	○	西ヶ原研修合同庁舎	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業

#### <委員からの主な意見等>

##### (道路事業)

- ・ 長期間事業を実施している事業で暫定供用した区間がある事業については、既供用区間から発生する便益を B/C に反映できるようにしてもよいのではないか。

- ・設計速度など道路性能を変えて整備を行った場合、費用対効果がどの程度変化するものなのか今後検討することも必要ではないか。

(公園事業)

- ・公園施設単体ではなく、周辺の競合公園も含めた観点からの公園施設の在り方について研究して欲しい。